

ターフ分析(到達範囲、リーチを最大にする最適組み合わせ分析)

※ ターフ分析=TURF Analysis=Total Unduplicated Reach and Frequency Analysis

～ラインアップ改善に役立つ分析です～

- 商品ミックス：商品群の購買率が最大となる商品の組み合わせは？
- メディアミックス：認知率を最大にする広告メディアの組み合わせは？
- 施策ミックス：最大限のニーズに応えるための施策の組み合わせは？

当分析の概要を、下記の事例を通してご紹介します。

【課題解決の一例】 ～商品ラインアップ見直しへの活用事例～

ある商品コーナーのラインアップ見直しを検討しているお店があります。

現在、当商品コーナーには6つの商品がラインアップされていますが、状況が変わり、2つの商品までしか陳列できなくなりました。

この場合、どの商品の組み合わせが最適でしょうか？

つまり、6つから2つの商品を選ぶ組み合わせのうち、当商品コーナー全体としての購買率が最大となる組み合わせはどれかという問題です。

このように“制約があるなか、どのいくつかを選べば目的を最大限達成できるか？”という、ラインアップ改善に向けた組み合わせを明らかにする際に役立つ分析です。

【分析に必要な質問】

この問題解決へ向け、アンケートで次のような質問を設定し、消費者の購買状況を調査しました。

ターフ分析を行うのに必要な質問は、基本的には1問のみです。※

とてもシンプルなので応用範囲が広く、かつ対策を実践しやすいのがメリットです。

**Q. 次の商品のうち、購買経験がある商品の番号に「いくつでも」
○印をつけてください。**

1	商品A
2	商品B
3	商品C
4	商品D
5	商品E
6	商品F

※ 「Q. 次の商品のうち、購買回数が多い商品番号、1位から3位を下記の欄にそれぞれ記入してください」といった質問の回答データからも分析できます。ただし、この場合の質問数は3問になります。

【分析に必要なインプットデータ】

話しをわかりやすくするため、5人の回答者からなる簡単なサンプルを例に示します。
当分析は、通常このような2値(0-1)形式のデータをインプットデータとして用います。

表1

id	商品A	商品B	商品C	商品D	商品E	商品F
回答者1	0	1	1	0	0	0
回答者2	1	1	1	0	1	1
回答者3	1	1	1	0	0	1
回答者4	0	0	0	1	0	0
回答者5	1	1	1	0	0	0

1=購買を表します
0=非購買を表します

一見すると、単純集計の合計および%が最大となる(商品B、商品C)の組み合わせが最適に思えます。そして、合計や%が低い商品D、Eは除外対象商品に思えます。(表2)

しかし、本当に(商品B、商品C)の組み合わせが最適解でしょうか？

表2

id	商品A	商品B	商品C	商品D	商品E	商品F
回答者1	0	1	1	0	0	0
回答者2	1	1	1	0	1	1
回答者3	1	1	1	0	0	1
回答者4	0	0	0	1	0	0
回答者5	1	1	1	0	0	0
合計	3	4	4	1	1	2
%	60%	80%	80%	20%	20%	40%

← 単純集計結果

【分析結果】 ～単体最適の組み合わせが、全体最適とは限らない～

前掲の表1をもとに、2つの組み合わせでリーチできる回答者id、リーチ数を一覧表にしたのが表3です。これによれば、最適な組み合わせは、ケース7(B、D)およびケース10(C、D)です。

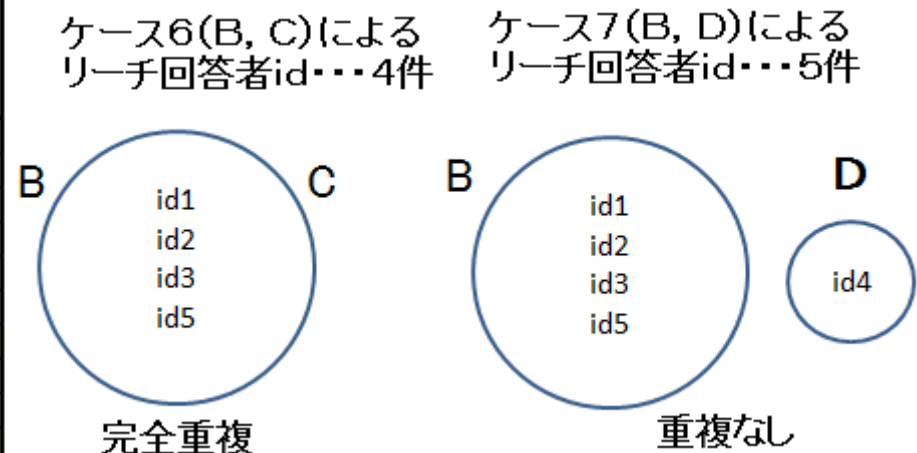
ケース6(B、C)の組み合わせは、商品B、C、いずれも単純集計による単体でのリーチは最大ですが、回答者idが重複しているため、全体としてのリーチは最大になりません。

具体的に見ると、(B、C)の組み合わせでリーチできる回答者idは、1,2,3,5の4件です。一方、(B、D)あるいは(C、D)の組み合わせでリーチできる回答者idは、1～5の5件です。(表1より)

このように、ターフ分析は単純集計では見えにくい重複を考慮しつつ、全体としてのリーチ(到達範囲)を最大にする最適な組み合わせを可視化する分析です。

表3

2つの組み合わせ	商品A	商品B	商品C	商品D	商品E	商品F	リーチ回答者id	リーチ数
ケース1	○	○					1,2,3,5	4
ケース2	○		○				1,2,3,5	4
ケース3	○			○			2,3,4,5	4
ケース4	○				○		2,3,5	3
ケース5	○					○	2,3,5	3
ケース6		○	○				1,2,3,5	4
ケース7		○		○			1～5	5
ケース8		○			○		1,2,3,5	4
ケース9		○				○	1,2,3,5	4
ケース10			○	○			1～5	5
ケース11			○		○		1,2,3,5	4
ケース12			○			○	1,2,3,5	4
ケース13				○	○		2,4	2
ケース14				○		○	2,3,4	3
ケース15					○	○	2,3	2



注: OR条件に該当する回答者数(トータルな円の大きさに相当)が、その組み合わせにおけるリーチになります。

【無料お試しサービスのお知らせ】

最後までご覧頂き、誠にありがとうございます。

お礼として皆様がお持ちのデータを用い、最大10アイテムの組み合わせの中から、ご希望の1種類の実績ターフ分析を無料にて承ります。

こちらは毎月先着10名様への限定サービスになりますので、ご希望の方は早めにご連絡ください。宜しくお願い申し上げます。

株式会社 データム

〒101-0034 東京都千代田区神田東紺屋町30番地 サンハイツ神田ビル8F

電話:03-3255-6851

FAX :03-3255-6852

メール:info@dtum.co.jp